

## 実績報告書 (4頁程度を目安に作成してください。)

静岡県 南伊豆町立南伊豆東小学校	実施学年： 6年 児童数： 13人(学級) 実施教科等： 総合学習 実施時間数： 時間 56時間
実施／参照プログラム	No. 11 地域景観プランナーになろう



### ●学習のねらい・学習活動・準備品・実施場所

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分たちの住む南伊豆の美しさ、その価値について気づき、その美しさを守るため、他に伝えるためには何ができるか考え、実践する。</li> </ul>
学習活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 南伊豆の美しさと価値を知る。(体験、外部講師による講座、調べ学習)</li> <li>● 調べたことをまとめ、プレゼン資料を作り、移動教室で南伊豆を訪れる桃井第三小学校(東京)の児童に伝える。</li> <li>● 南伊豆未来プロジェクトとして、南伊豆町のために自分たちができることを考え提案するための資料を作る。</li> <li>● 町の人たちに自分たちの提案を伝え改善点についてアドバイスをもらう。</li> <li>● 提案内容を改善し、ゴミ拾い、パンフレット作り、花を植えるなどの活動などを実践する。</li> <li>● ゴミ拾い活動で集めたシーグラスを使って卒業制作をする。</li> <li>● 森町立森小学校と実践を報告し合う。</li> </ul>
準備品	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタルカメラ</li> <li>● コンピューター</li> <li>● プリンター</li> <li>● プロジェクター</li> <li>● 取材カード</li> <li>● 発表原稿用ワークシート</li> <li>● 掲示用模造紙、画用紙</li> <li>● バインダー、筆記用具</li> </ul>
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教室</li> <li>● 学区域(弓ヶ浜海岸、逢ヶ浜海岸、石廊崎オーシャンパーク、石廊崎港)</li> <li>● 町内施設(下賀茂熱帯植物園)</li> </ul>

## ●学習の流れ

	場所	概要	活動記録	児童の反応
1 時 間	学校内	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 南伊豆町の美しいところを思い浮かべる。</li> <li>● 学校のいいなと思うところをさがす。</li> <li>● テーマや学び方を考える。</li> </ul>	 <p>学校のきれいだと思うところを児童が写真に撮った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 南伊豆は、海が美しい町であることを再確認した。</li> <li>○ 海を実際に見に行ったり、ゴミ拾いをしたりしたいという思いをもった。</li> </ul>
1 時 間	教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海でイルカを助けた外部講師の話聞いて、環境問題について考える。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ きれいに思っていた海にゴミがあり、それをイルカが食べていることに驚いた。</li> </ul>
2 時 間	石廊崎港	<ul style="list-style-type: none"> <li>● クルージング体験をして、南伊豆の美しさを知る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 海がエメラルドグリーンに見えることに感動していた。</li> </ul>
1 時 間	教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外部講師により伊豆半島の成り立ち、伊豆の海が美しい理由を話してもらう。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 海がエメラルドグリーンに見えるわけ、伊豆半島について、更に深く学び、新しい発見に驚いていた。</li> </ul>
2 時 間	石廊崎オーシャンパーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ジオガイドに石廊崎の自然、歴史、建物などフィールドワークで学ぶ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 南伊豆町には、海だけでなく植物や神社、灯台など、様々な魅力があることを知った。</li> </ul>
2 時 間	弓ヶ浜海岸と歩道	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小中合同清掃活動を行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 環境問題に気付き、自分たちで行動することの大切さを知り活動に意欲を持った。</li> </ul>
1 0 時 間	教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 南伊豆のよさを知らせるためのプレゼンテーション資料づくりをする</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ パワーポイントを使っての写真の選び方、効果的な文字の選び方などを知り、うまく伝えたいという思いを持った。</li> </ul>

	場所	概要	活動記録	児童の反応
2時間	教室	移動教室で南伊豆町に来る杉並区立桃井第三小学校6年生とウェブ会議をする。		○南伊豆のよさを伝えることができたことオンラインを通じて友達になれたことを喜んだ。
1時間	教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分たちが南伊豆のためにできることややりたいことを考える。</li> <li>●町長さんに伝えるための資料作りをする。</li> </ul>		○一人一人がもう一度南伊豆町のためにどんなことができるか考えたが、自分が好きなことに偏る様子も見られた。
6時間	教室	●学校の環境を美しくするために花壇に花を植える。		○用務員さんのアドバイスを受け、自分たちで花を買いに行き、校門の花壇に花を植えることができ、満足そうな姿が見られた。
2時間	校庭	●南伊豆町のために提案をしてきた方の話を聞く。		○南伊豆のよさを伝えるために工夫し、仲間と関わりながら、あきらめないことの大切さを知った。
1時間	弓ヶ浜	●資料作りのための調査をする。(どんなごみが落ちているのか調べる、自分たちの提案する施設を建てる場所を探す)		○自分たちで計画した活動であったため、意欲的に取り組んだ。
7時間	教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>●南伊豆未来プロジェクトの資料を作成する。</li> <li>●町の人に自分たちの提案を伝え、アドバイスをもらう</li> </ul>		○自分たちの実践を認められ、嬉しそうな姿が見られた。南伊豆のために自分たちにもできることがあるということを知った。
2時間	教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アドバイスをもとに実践を深める。</li> <li>●フラワーアレンジメント</li> </ul>		○花を飾る楽しさを知り、身の回り的人を喜ばせたいという意欲を持った。

	場所	概要	活動記録	児童の反応
2時間	逢ヶ浜	● 自分たちで計画を立てたゴミ拾い活動を行う。		○ ゴミ拾いに意欲的に取り組むとともに、シーグラス集の楽しさを知った。
3時間	教室	● 森小学校と実践を報告し合う準備をして、交流学习を行う。(準備2時間、交流1時間)		○ 他の学校の学び方やプレゼンテーションの仕方を見て、自分たちとの違いに気がついた。
7時間	教室	● 外部講師を招き、自分たちがゴミ拾い活動の中で集めたシーグラスで卒業制作を作る。		○ シーグラスを使っての活動を楽しんだ。ゴミを拾う活動の他の価値に気づいていった。
4時間	教室	● 活動をまとめたパンフレットを作成し、お世話になった地域の方に渡す。		○ お礼の手紙を添え、パンフレットを届けることにした。感謝の気持ちと達成感をもつことができた。

### ●児童の作品



1年間の学習と南伊豆町のよさをまとめたパンフレット



子供たちが拾ってきたシーグラスを使った卒業制作

### ●先生の声

#### 【実施にあたり工夫した点・苦労した点】

- 児童の気付きや思いを大切にしながら、学習を展開したいと考えた。どのように投げかけ、児童の思いを膨らめたらよいか単元構想を考えていくことが難しかった。
- 外部講師を多く招き、体験と人との関わり合いを通して、学んだり気づいたりすることができるようになっていた。
- 図工、国語、理科、社会などとの教科の関連を考え、学びが繋がるようにしていった。
- 他の学校や町長さんなど様々な人に伝える場を設けることで、意欲を高めていった。

#### 【児童の反応】

- 地域について学び、考えていく中で、自分たちも自分たちの町のために何かできることに気が付いていった。進んでゴミ拾いなど行いたいという児童が増えた。また、様々な人々との関わりを楽しむことができた。

#### 【教師の変化】

- 景観という視点から、様々な学びが広がることが分かった。1年間を通す大単元を考えられたことは、大きな研修となった。地域の自然や建物、人々に常に目を向けて、学習材を探すようになり、地域のすばらしさを改めて知った。